

平成29年度 地域力向上事業
「第4回ジュニアジオガイド講座」事業報告書

企画指導専門職 山下 正晃

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と自ら学ぶ意欲の育成に努める。また、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力の育成に努める。
- (2) 期 日 平成29年11月11日(土)～12日(日) 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、竹田駅前、岡城址、原尻の滝、沈墮の滝、魚住ダム、野鹿地域
- (4) 参加者 熊本県の小学3～6年生 31名
(3年生1名、4年生11名、5年生9名、6年生10名)
- (5) 講 師 花岡 利和 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
児玉 史郎 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
山本 セツ 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
大西 佳代 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
川原美代子 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
- (6) 担当職員 山下 正晃 (企画指導専門職) 安部 信吾 (企画指導専門職)
宮本 賀通 (事業推進係員) 志賀 泰成 (事業支援室主任)
田上 正文 (事務補佐員)
- (7) 内容 【1日目】竹田駅前地層見学、岡城址探検、原尻の滝探検、沈墮の滝探検、地層形成実験
【2日目】魚住ダム探検、野鹿地層見学、2日間のまとめ

2. 成果と課題

(1) 成果

- ① 阿蘇郡市周辺から大分県の竹田市と豊後大野市に学習の場を広げた。新しい地域での活動が参加者の好奇心や学習に対する意欲を高めていた。
- ② 竹田市や豊後大野市に点在する地層やジオサイトを探検する中で、参加者は阿蘇の火山活動が大分の地形の形成に大きく影響を与えていることなどについて理解を深めていた。
- ③ 2日目の魚住ダムで水の放流がされており、以前日本の滝100選であった雌滝と雄滝を見ることができた。普段は見ることができない光景が参加者やスタッフに感動を与えていた。
- ④ 参加者の感想には、「阿蘇から遠く離れていても、阿蘇とのつながりがあることがわかった。」「それぞれの地形の仕組みがわかって楽しかった。」「中学生になっても参加したい。」などが見られ、今回の活動が参加者のジオに対する理解を深めるとともに、今後の学習の意欲の喚起につながっていた。

(2) 課題

- ① 今回は竹田市と豊後大野市を中心に活動を行ったが、移動時間が長くなることもあり、あわただしく活動を行うことがあった。
- ② 今回は溶岩が形成した地形や地層などが探検の中心となったため、3年生や4年生の参加者が探検の指令の理解や調査した内容の整理に時間がかかっていた。
- ③ 第1回から今回まで通しての参加者が20名いたため、本事業に対する慣れから、細かいルールなどを守れない参加者が数名いた。



開講式・交流会の様子



竹田駅前の地層を調査する参加者



岡城址を探検する参加者



原尻の滝を調査する参加者



沈随の滝を調査する参加者



野鹿の地層を調査する参加者



2日間のまとめを発表する参加者



閉講式で修了証・認定証をもらう参加者